

鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

【グループ①】

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

| なにを？ | どのような？ | だれが？ | いつ？ | | | さらに？ |
|--|---|---|---|---------------------|-------------------|---|
| <p>取組内容</p> <p>課題：災害時要支援者（避難行動要支援者）への支援の在り方や個人情報の取扱い</p> <p>↓</p> <p>アクション：要配慮者の要支援者と支援者が合同で訓練できるとよい。</p> | <p>まちづくり上の効果</p> | <p>例)自治会/民児協/地区社協/まちぢから協議会等</p> <p>・民事協と自治会で連携 ・継続性を高める</p> | <p>短期 R6～</p> <p>・3月防災訓練で炊き出し等を実施 ・要配慮者へ声掛けを行う</p> | <p>中期 2～3年後</p> | <p>長期 5年後</p> | <p>防災上の効果</p> <p>課題となっている個人情報の取扱いなども確認することで、災害時の支援を円滑にできる。</p> <p>「無事です」黄色いタオル・カードなど現在も実施している ⇒安否確認</p> |
| <p>課題：若い世代の自治会への参加が少ない、担い手不足（いつものメンバー）</p> <p>↓</p> <p>アクション：新しく来た方への入会の声掛け強化</p> | <p>・規模が大きいと動きづらいが、行事の時に顔出しをするなど小さなことの積み重ね ・挨拶を重ねる、まずは顔を知ってもらうことが大切 ・輪を広げるきっかけになる ・自治会の良さを感じてもらう</p> | <p>・自治会が実施</p> | <p>クリーンキャンペーンなどの機会</p> | | | <p>自治会加入者が増えれば災害時の支援者が増える</p> |
| <p>課題：消防施設の取扱い ・消火栓がわかりにくい ・消火用ホースの使い方 ・防火水槽のメンテナンス</p> <p>↓</p> <p>アクション：消火栓等の地域資源や使い方の確認</p> | <p>・地域資源の場所や使用方法を確認 ・学校でもできるようになるとよい</p> | <p>・まちぢからが自治会に声掛け ・自治会が実施 ・消防団の連携の依頼</p> | <p>・年に2回の訓練とは別に、各自治会で1回やってみる ・すぐに始められるけど、みんなが使えるようになるには時間がかかる</p> | | | <p>・消火栓は水圧が強く訓練しないと本番で使用できない ・災害時の水が重要 ・井戸が多いため、場所も確認生活用水として使える</p> |

鶴嶺西地区 防災もまちづくりマップ グループ①

【まちづくりのキャッチフレーズ】

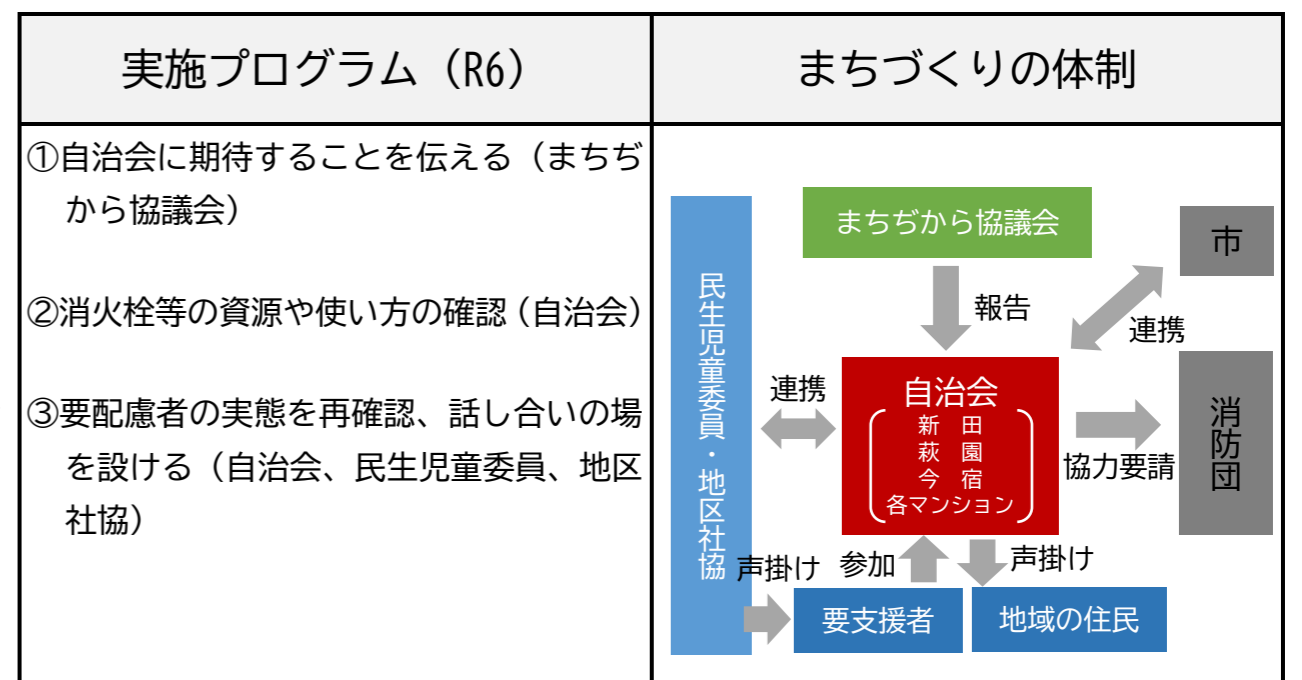
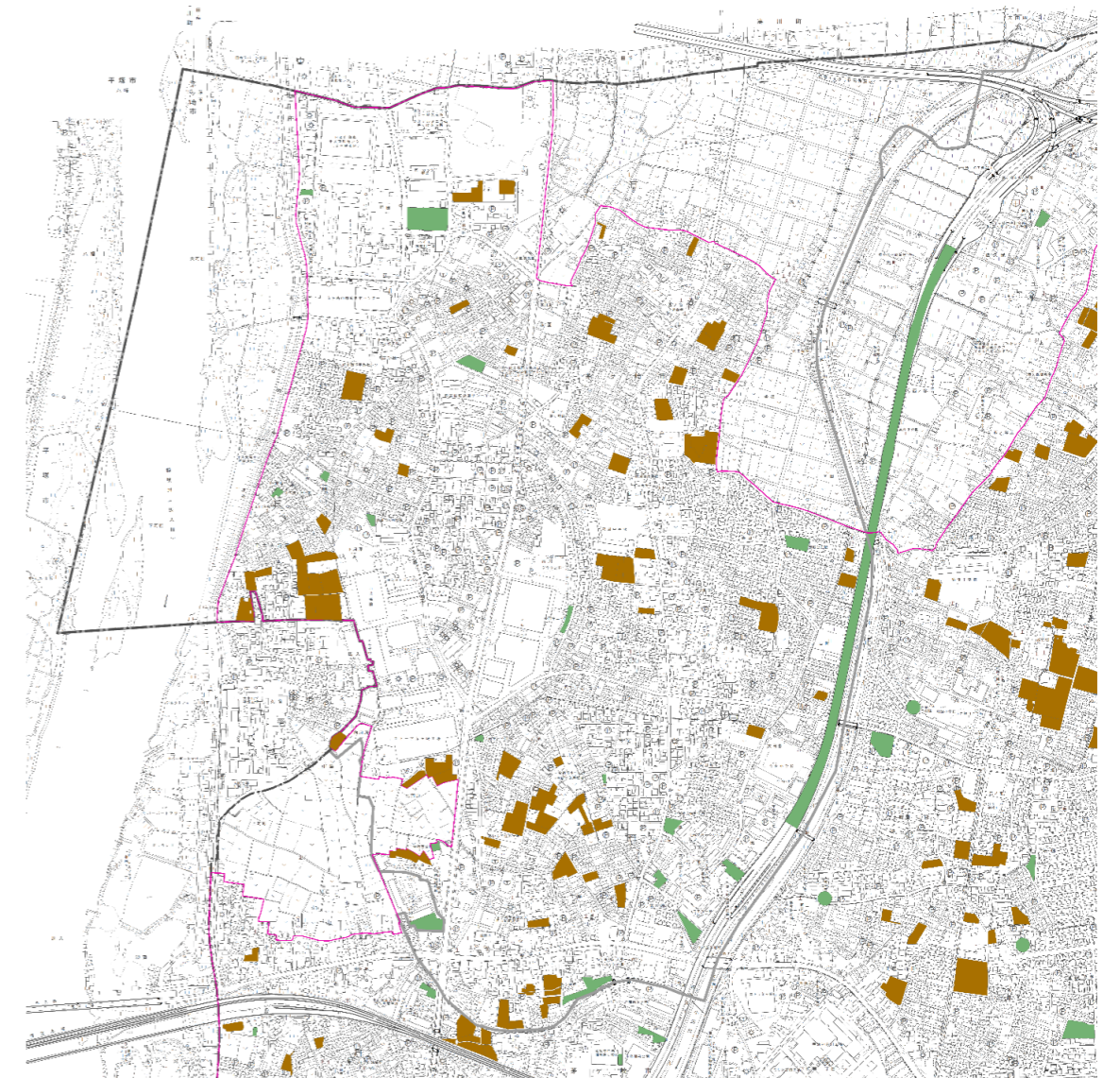
訓練すれば、助かる！

【グループワークのまとめ】

| | |
|----------|---|
| まちの魅力・資源 | <ul style="list-style-type: none"> ①宅地が増え、若い世代が増加 ②アルパック等工場と共存 ③小出川の河川敷、富士山・散策路 ④お寺・農地などオープンスペース多い、ビニールハウスも活用可 ⑤お店が多い（災害時の食料として活用） ⑥井戸が多い |
| まちづくりの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ①若い世代の自治会への参加少ない ②地域活動の担い手の高齢化 ③道路の幅が狭い、行き止まりが多い |
| 防災上の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ①浸水の危険性が高い ②避難行動要支援者の支援 ③消火設備など地域資源の場所とその使い方の確認 ④水害時の地区の避難所が円蔵小となり遠い |

【アクションプラン】

| 実施団体 | 取組内容 | 実施時期 (短・中・長) |
|-------------------|--------------------------------|-----------------|
| ① まちぢから協議会 | ・今日の話し合い結果を地域に広げていくこと、どう伝えていくか | 短期 |
| ② 自治会 | ・地域資源の場所の確認 | 短期 |
| | ・新しく入会される方への声掛け | 短期 |
| | ・消火ホース、消火栓使い方訓練 | 短期 |
| | ・消防団との連携 | 短期 |
| ③ 自治会、民生児童委員、地区社協 | ・避難行動要支援者に関する連携強化 | 短期 |
| | ・避難行動要支援者に訓練参加の呼びかけ | 短期 |
| ④ 市と連携 | ・避難所の運営訓練（初期は混乱、地域と市の連携） | 中期 |
| | ・垂直避難を含めた避難の考え方や避難場所の検討 | 中期 |



鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

【グループ②】

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

| なにを？ | どのような？ | だれが？ | いつ？ | | | さらに？ |
|---|-----------|------------------------------|------------------------------------|-------------|-----------|---------------------------|
| 取組内容 | まちづくり上の効果 | 例)自治会/民児協/地区社協/ まちぢから協議会等 | 短期 R6～ | 中期 2～3年後 | 長期 5年後 | 防災上の効果 |
| <p>(取組みのポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニケーションをよくして、自分のまちを理解することが重要 ・このため世代を超えた参加のきっかけづくりを行う ・取組みのポイントとしては、自治会の活動を中心にするが、これまでの大人中心の取組みから子ども中心の取組みを行う | | | | | | |
| <p>(これまでの課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会だけでは運営が大変 ・自治会イベント等の周知が十分でない | | | | | | |
| <p>①周知や必要なサポート支援のために各種団体に声かけをする</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><これまで></p> </div> <div style="text-align: center;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p><これから></p> </div> </div> <p style="text-align: center;">+</p> | | | | | | |
| <p>②参加者が一緒に準備できる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや親子の「やりたい」ことができる場所を自治会が提供する ・自主的に参加することで、自治会との顔のみえる関係性に気付くことができる <p>例えば、焚火➔広場や神社で焚火ができるよう消防との協議等を自治会が行い、参加者はキャンプ感覚で参加 焼き芋➔家庭菜園の野菜を持ってきてもらい焚火で焼く 消火訓練➔最後は焚火を消火訓練 ※季節が良いときは、防災キャンプとして火つけや炊き出しのテクニックを学ぶ</p> | | | | | | |
| | | | <p>基本的に自治体の取組みとする 短期実施を目指す</p> | | | <p>顔つなぎができ、災害時の活動に役立つ</p> |

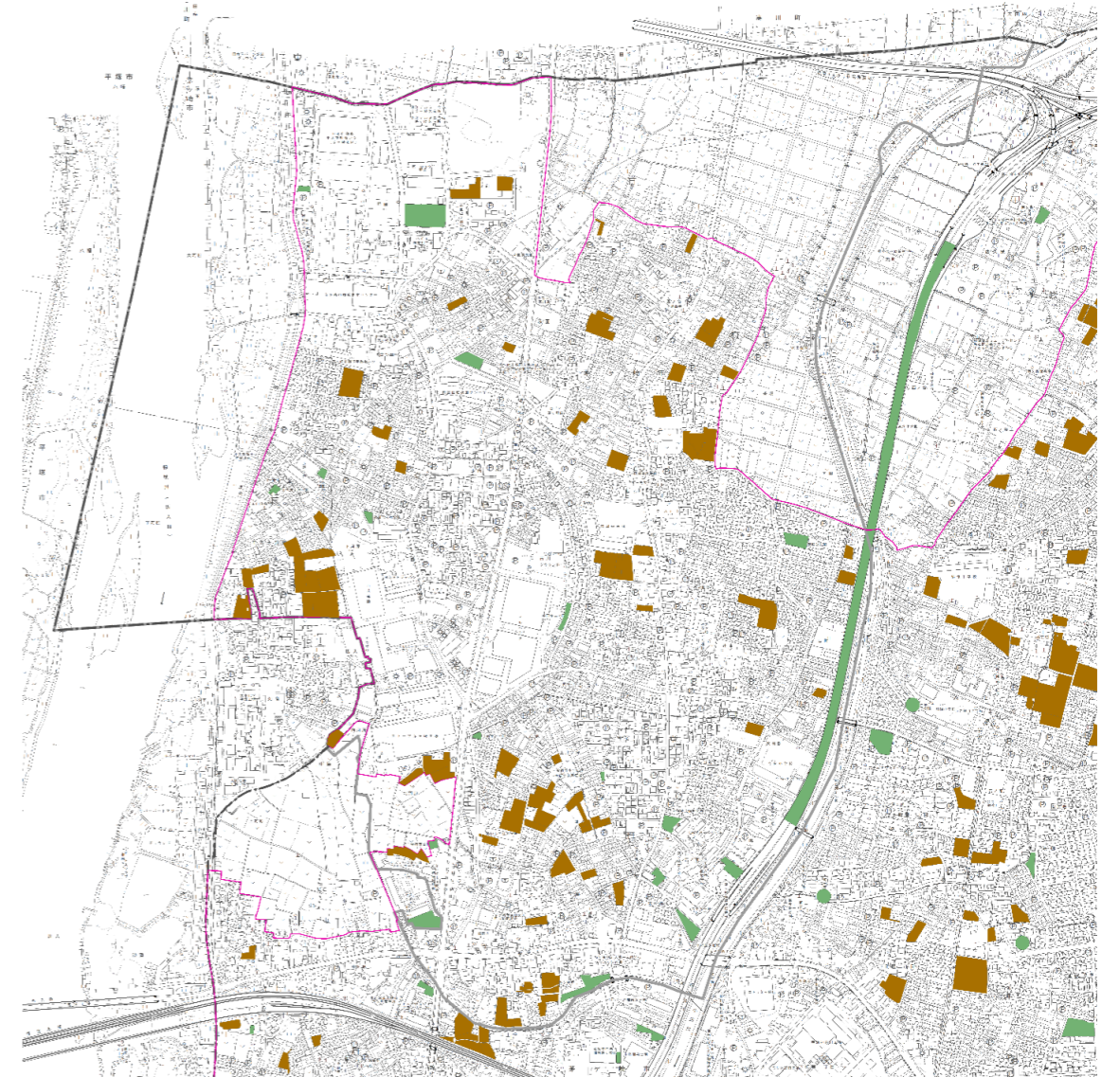
鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ②

【まちづくりのキャッチフレーズ】

つながろう、あなたが主役のまちづくり

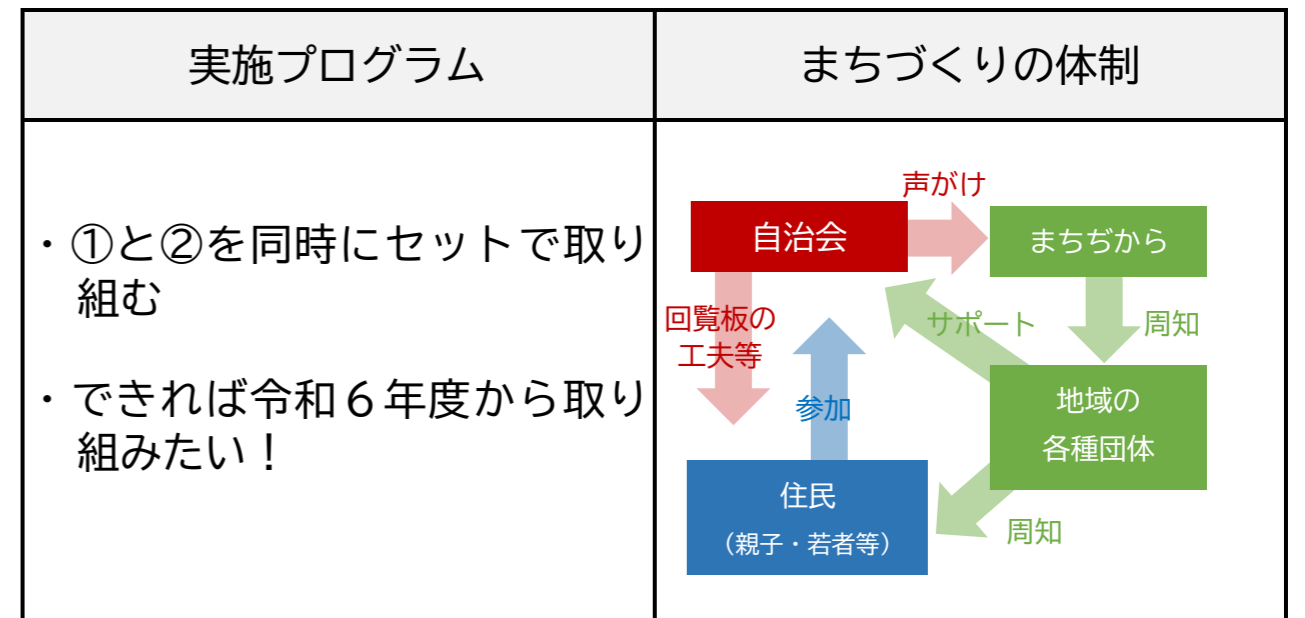
【グループワークのまとめ】

| | |
|----------|-----------------------------|
| まちの魅力・資源 | 地域で活動している方同士で顔の見える関係性ができている |
| まちづくりの課題 | 活動の担い手不足 |
| 防災上の課題 | 居住者のつながりや顔の見える関係性は十分でない |



【アクションプラン】

| 実施団体 | 取組内容 | 実施時期 (短・中・長) |
|-------|--|-----------------|
| ① 自治会 | ・自治会主催のイベントのときには、周知や運営サポートについて、各種団体に声かけを行う | 短期 |
| ② 自治会 | ・親子や若い世代の「やりたい」ができる場づくりや参加型のイベント 例：焚火、やきいも、餅つき+防災訓練、防災キャンプ など | 短期 |



鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

【グループ③】

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

| なにを？ | どのような？ | だれが？ | いつ？ | | | さらに？ |
|---|----------------------------------|---|--------------------|-------------|-----------|------------------------------------|
| 取組内容 | まちづくり上の効果 | 例) 自治会/民児協/地区社協 /まちぢから協議会等 | 短期 R6～ | 中期 2～3年後 | 長期 5年後 | 防災上の効果 |
| ①逃げ道が分かるマップを作成する →逃げ地図 | ①子供の地域学習になる(大人も) 障がい者のサポートになる | ①みんなでつくる(主にまちぢから や自治会が中心か) | ①すぐに実施 | | | ①逃げやすくなる たくさんの方が助かる |
| ②各団体間の連携 | ②あらゆる活動に効果あり | ②自治会が中心になる 他の自治会との連携も図る | ②組織づくりを しっかりと実施 | | | ②コミュニケーションを図りやすくなる 課題意識のある人を増やす |
| ③まちあるきを行う →防災マップづくりやオリエンテー リングを併せて行ってもいい | ③地域のことが分かる | ③社会福祉協議会(地区社協) 地域包括支援センター | ①、②後に活動 を進める | | | ③消火栓など防災資源を知ることが できる |
| ④みんなが楽しめる防災イベントを 企画する 【例】 子ども食堂で防災食を食べる 自然の中で食べられるものを探す (川のコイを食べてみるなど) | ④防災に関心のない人も来る | ④子ども食堂やお寺と連携 【例】 サッカー・野球のスポーツ団体など との連携 | ①、②後に活動 を進める | | | ④結果的に防災に触れる 災害時に食料に困らない |

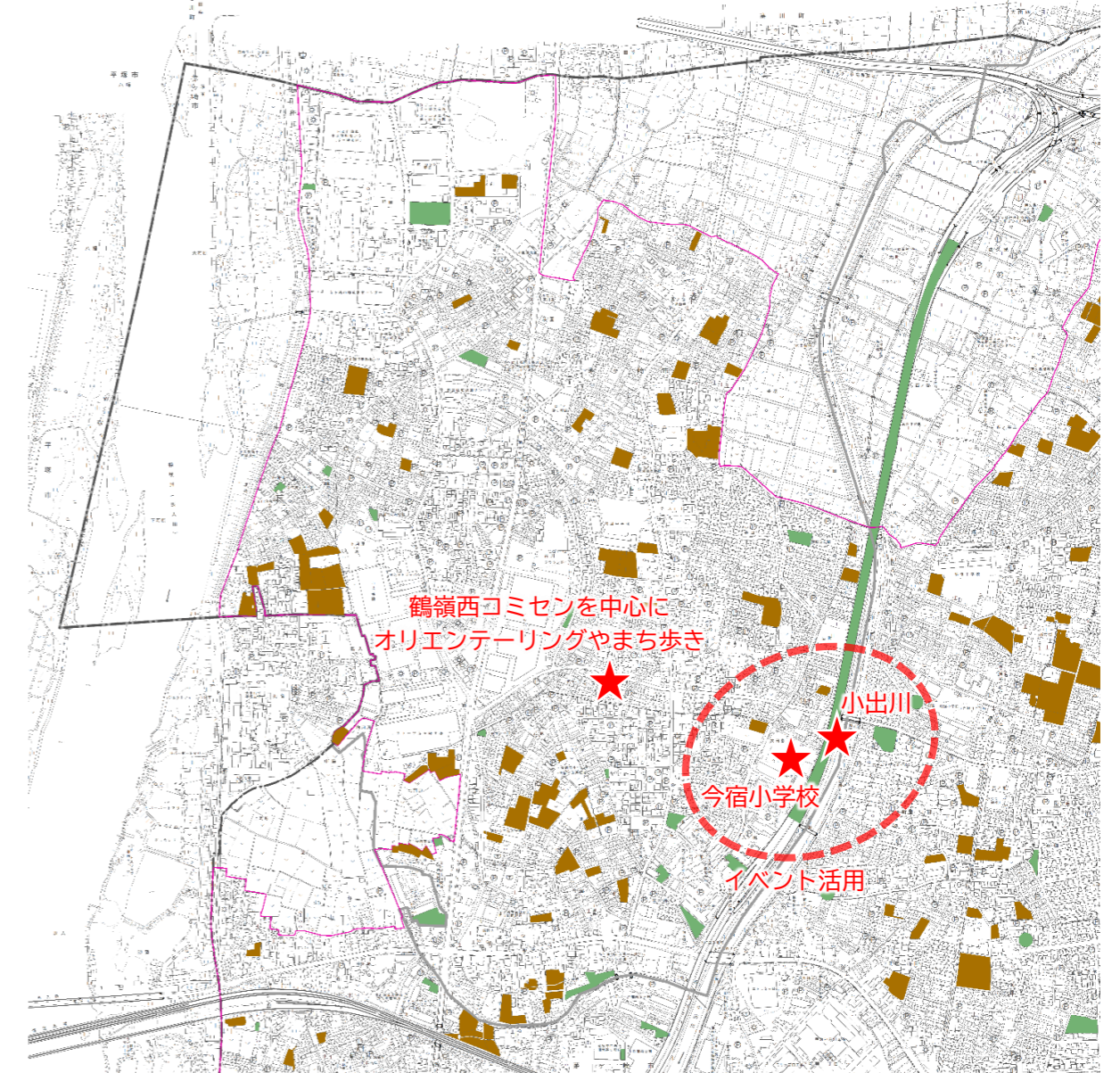
鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ③

【まちづくりのキャッチフレーズ】

ONE 鶴嶺西地区 ～住民連携、幅広い世代で同じ方向を向こう!!～

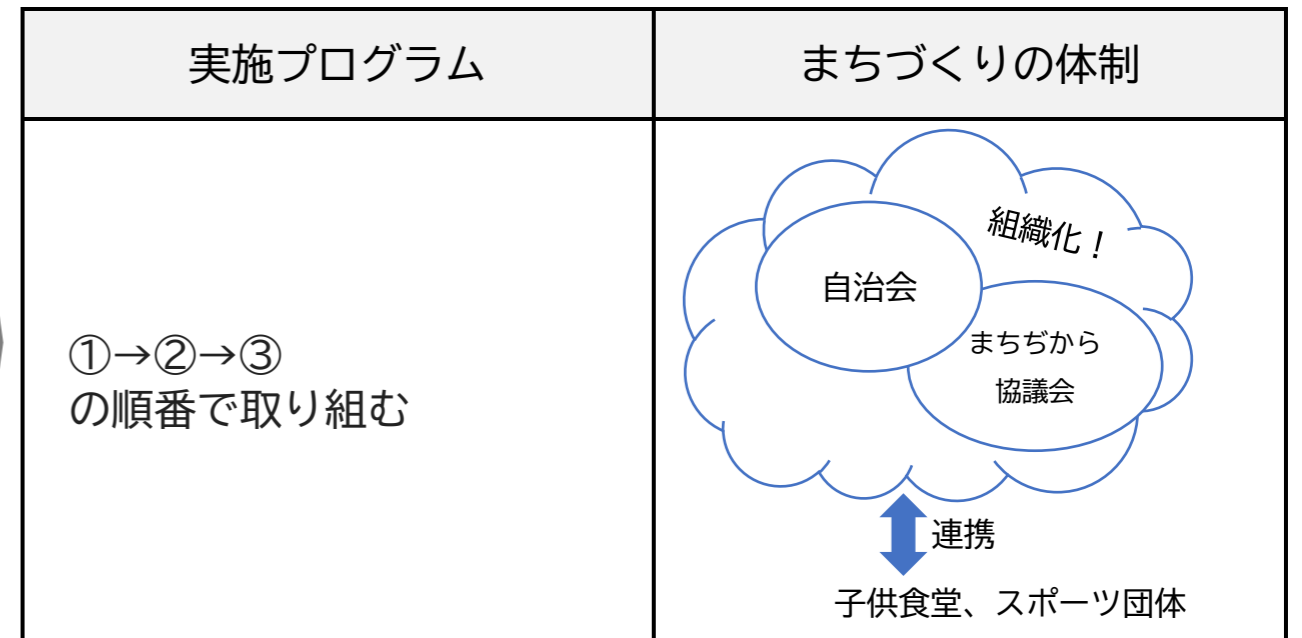
【グループワークのまとめ】

| | |
|----------|--|
| まちの魅力・資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が暮らしやすい ・次の活動に活かせる団体が既にある ・公園や広場が多く活動できる場がある ・川や静かな住宅街など暮らしが豊か |
| まちづくりの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や日頃の活動に若い人がいない ・幅広い世代の<u>コミュニケーション</u> ・<u>団体間の連携</u> ・<u>コロナ後の活動復活</u> |
| 防災上の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・道が狭くデコボコ、下水道などのインフラ整備 ・住宅街の密集と火災の危険性 ・住民の防災意識が高くない |



【アクションプラン】

| 実施団体 | 取組内容 | 実施時期 (短・中・長) |
|-----------------------------------|---|-------------------|
| 自治会、まちぢから協議会等 | 各団体との情報共有・連携→組織化 | ① 短・すぐに! (5月頃) |
| 各団体中心に (共催) | 地域の方々を巻き込んで まちあるき、防災マップづくり、オリエンテーリングを行う | ② 短 |
| 子ども食堂・スポーツ 団体+自治会・まちぢ から協議会 | みんなが楽しめる防災イベントを開催する ・防災を目的としない楽しいイベント ・防災食堂や自然の中で食べられるものを探す(川のコイを 食べてみるとか) | ③ 短 |



鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ

【グループ④】

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

| なにを？ | どのような？ | だれが？ | いつ？ | | | さらに？ |
|---|--|--|--|--|--|---|
| 取組内容 | まちづくり上の効果 | 例) 自治会/民児協/地区社協 /まちぢから協議会等 | 短期 R6～ | 中期 2～3年後 | 長期 5年後 | 防災上の効果 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・どんな会社か知るための会社訪問 (アルバック祭、アルバックテクノの花見に模擬店出店。主催・共催で参加するか。) ・翔(しょう)の会、自治会イベント | <ul style="list-style-type: none"> ・工場との連携 (どんな会社か資源となるものがあるかを知る) ・外国人労働者の情報確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちぢから協議会 (小さいネットワークづくりから始め、段々大きくしていく。コミュニティを広げていく。) | <ul style="list-style-type: none"> ・工場への会社訪問 | <ul style="list-style-type: none"> ・模擬店出店! | | <ul style="list-style-type: none"> ・工場との連携 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・若い家族の取り込み ・地域との連携に向け、消防団にアプローチする ・子どもの居場所づくり ・お寺で子ども食堂をしている | <ul style="list-style-type: none"> ・転入者の取り込み。40代、子どもに自治会に入ってもらおう。 ・アパート住人が誰か分かる ・自治会のイベントに若い世代、子どもの親に参加してもらおう | <ul style="list-style-type: none"> ・まちぢから協議会 →子どもの夏休みの居場所づくり ・自治会 →イベント実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団へのアプローチ ・子どもの夏休みの居場所づくり |   | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団との連携 ・親・学校との関係づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に役立つ関係づくり |
| <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難行動の訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちぢから協議会 ・自治会 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年続ける |  | | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からの備え |
| <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の勉強 (過去の災害について) | <ul style="list-style-type: none"> ・災害の歴史を知る | <ul style="list-style-type: none"> ・まちぢから協議会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等と連携して実施 | | <ul style="list-style-type: none"> ・災害の歴史を知る |

鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ④

【まちづくりのキャッチフレーズ】

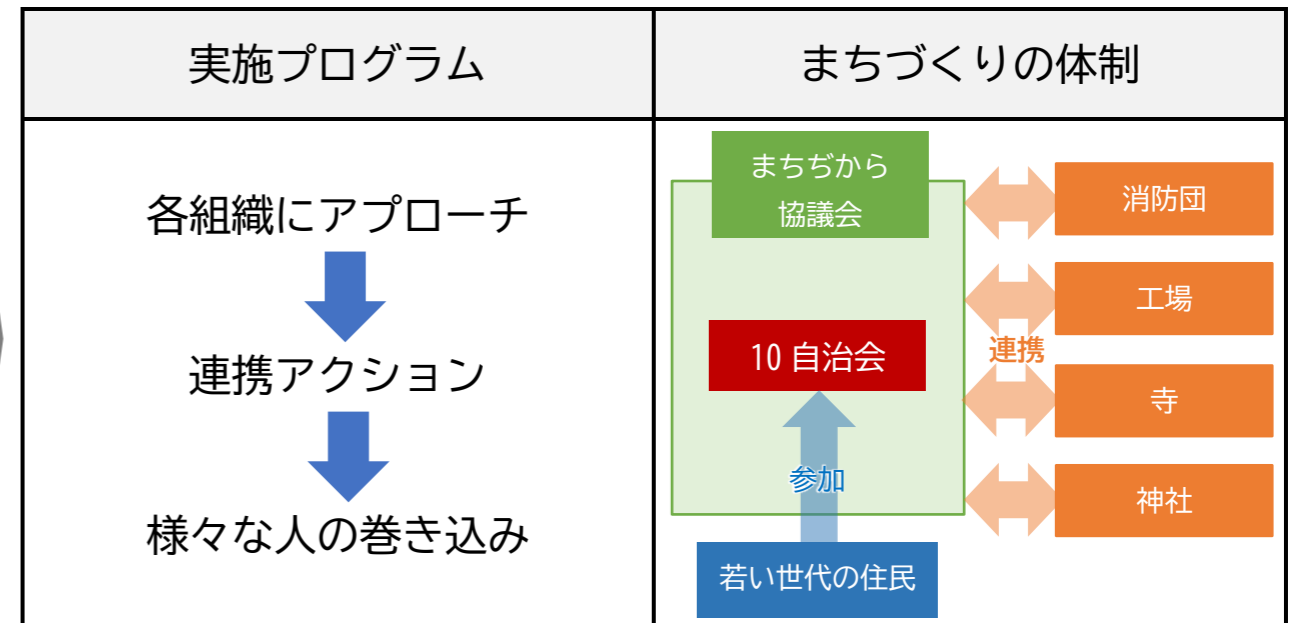
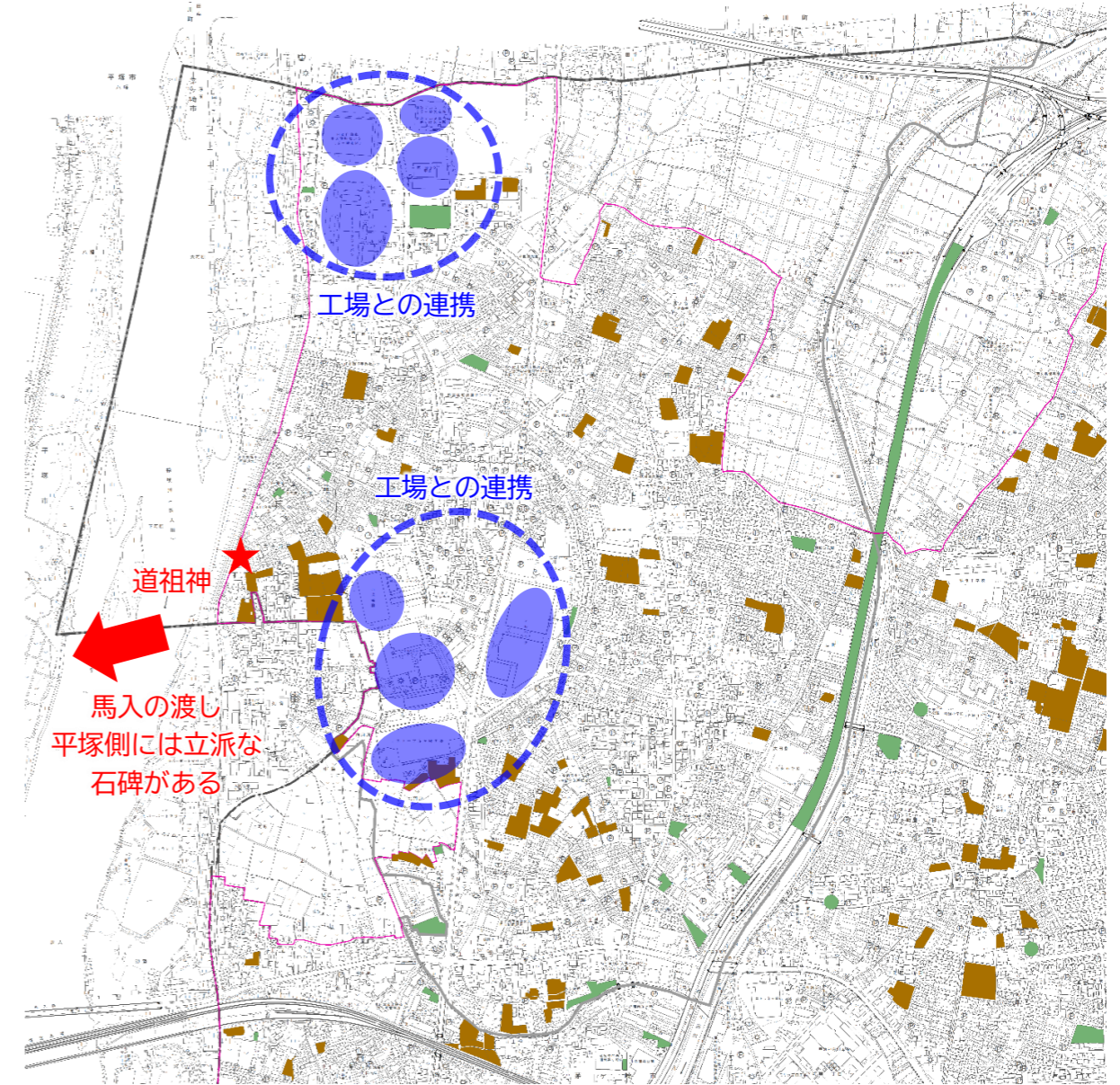
小さなネットワークから絆づくり

【グループワークのまとめ】


| | |
|----------|--|
| まちの魅力・資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世帯・子育て世代が増加 ・工場が多い ・生産緑地・畑 ・歴史 ・川沿いの景色が良い |
| まちづくりの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・中学生との連携 ・民生委員と自治会の連携 ・情報の共有 ・近隣住民と連携 |
| 防災上の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者の情報共有 ・自治会ごとに情報管理の方法や基準が異なる |

【アクションプラン】

| 実施団体 | 取組内容 | 実施時期 (短・中・長) |
|----------------|---|-------------------------|
| まちぢから協議会・萩園自治会 | <ul style="list-style-type: none"> ・会社訪問 ※まずは萩園自治会からアルバックにアプローチ ・模擬店出店 | 短期 (R6年度) |
| まちぢから協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の勉強会 ・文化資料館の活用 | 中期 (2～3年) |
| 各自治会 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防団へのアプローチ | 短期 (R6年度) 反応を見て実施 |



【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

| なにを？ | どのような？ | だれが？ | いつ？ | | | さらに？ |
|---|---------------------------|--|---|---|-------------|---|
| 取組内容 | まちづくり上の効果 | 例) 自治会/民児協/地区社協 /まちぢから協議会等 | 短期 R6～ | 中期 2～3年後 | 長期 5年後 | 防災上の効果 |
| 鶴嶺西地区の特性を考慮した取組みを考える 「風水害×戸建て住宅×高齢者（独居） ⇒いかに命を守るかを考える！」 | | | | | | |
| 重点的な 水害時の避難場所の検討 ⇒環境事業センター、 アルバックなど | 高齢独居の円滑な避難支援と 避難場所の明確化 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会 ・タクシー会社 ・民間企業・ケアセンター などとの連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りを作る ・体制を考える |  | | 円滑な避難支援体制が構築され、 地区内の死者数はゼロに！ |
| 防災対策 周知キャンペーンの実施 ・家具転倒防止 ・耐震補強 ・感震ブレーカーなど 家庭でできる対策周知 | | <ul style="list-style-type: none"> ・各主体 ・市との協力 ・地区社協での周知 | 既存 イベントで の周知 | | | 既存イベントの一コマで周知する ことで、関心度が低い方にも適切 に情報を届ける |
| 情報伝達方法の検討 ・防災ラジオ：情報過多 ・LINE：通知が来る | | <ul style="list-style-type: none"> ・市との協力 | | | 住民に必要な情報が届く | |
| かまどベンチ・ベンチトイレ の設置 | | <ul style="list-style-type: none"> ・市 | 公園新規整備・改修時に設定を検討 | | | 災害時に使用できる |

鶴嶺西地区 防災 **も** まちづくりマップ グループ⑤

【まちづくりのキャッチフレーズ】

まかせて「安心」まちぢから

【グループワークのまとめ】

| | |
|----------|--|
| まちの魅力・資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・富士山が見える ・川の桜がきれい ・平坦な地形 ・野鳥が多い |
| まちづくりの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高い ・新規居住者とのコミュニケーション不足 ⇒新旧住民の一体感が必要 |
| 防災上の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難所・避難場所の縦割り（地震・津波・風水害） ・地震・水害のリスク ・木造住宅が多い |

【アクションプラン】

| 実施団体 | 取組内容 | 実施時期 (短・中・長) |
|-------------|---|-----------------|
| ① まちぢから自治会等 | 高齢・障がい独居の水害時の円滑な避難に向けた体制づくり | 短期から |
| ② 個人 | 近隣と仲良くする | 短期から |
| ③ 各主体 | 各イベントでの防災周知 PR (子ども会、昼食会、地区社協イベントなど) | 短期から |

